

としょかん だより

2025. 4 NO.240

宍粟市立図書館

〒671-2576
宍粟市山崎町鹿沢81
TEL 62-4620
FAX 62-9688

<https://www.ik.licsre-saas.jp/shiso/>



今月のテーマ展示

播磨科学公園都市圏域定住自立圏事業

もっと知りたい！行ってみたい！ わが町ゆかりの本

上郡 佐用

宍粟 たつの



宍粟



『風奔る 長水史伝
・戦国播磨最後の闘い』
春名 久雄

宍粟



『ルート29』
黒住 光
リトルモア

宍粟市、たつの市、上郡町、佐用町の図書館では、
ただいま4市町ゆかりの本を展示しています。
この地域を舞台にした小説、ゆかりのある人物や
著者の本、旅行ガイドなどを幅広く紹介しています。
どうぞ手に取って、どこに“わが町”が登場するか、
探してみてください！

※このほかにもたくさん本を展示しています。

たつの



『寅さんの「日本」を歩く
(1)(2)』
岡村 直樹
天夢人

たつの



『赤とんぼの母』
看護婦の草分け、婦人
運動家・碧川かたの生涯』
横家 伸一 文芸社

佐用



『播磨国妖綺譚』
上田 早夕里
文藝春秋

上郡



『森と、母と、
わたしの一週間』
八東 澄子
ポプラ社

宍粟



『日下を、なぜ
クサカと読むのか』
筒井 功
河出書房新社

播磨科学公園都市圏域定住自立圏の

『るるぶ たつの 宍粟 上郡 佐用』(特別版 全16ページ)が発行されました。

気軽に大自然を感じられるスポットや歴史的建造物、名物グルメなど、
4市町の観光情報がたくさん紹介されています。

図書館、市役所、市内道の駅などで無料配布しています。

ゴールデンウィークのお出かけなどに、ぜひご利用ください。



こんな本あります

『おてらおやつクラブ物語』

子どもの貧困のない社会をめざして』

井出 留美 著(旬報社 2024年刊)

日本では、年間472万トンの食品ロスが発生しています。その一方で、17歳以下の子どもの9人に1人は、貧困状態にあります。あるとき、大阪で母子が餓死する事件が起こりました。「食品ロスが社会問題となる時代に、なぜ食べ物がなく命を落とす人がいるのだろうか？」住職の松島靖朗さんは、この事件に大きなショックを受け、自分でも何か行動しなければならないと思いました。

お彼岸やお盆のように、お寺やお墓にお参りする人が増える時期には、お寺だけでは消費しきれないほどのおそなえが届きます。そこで松島さんは、支援団体を通じて、ひとり親家庭におそなえのおすそわけを始めました。けれども、まだまだ多くの支援を必要としている家庭があります。松島さんは仲間のお坊さんに呼びかけ、2014年1月「おてらおやつクラブ」を立ち上

げました。こうして、お寺の食品ロスと子どもの貧困という二つの問題を同時に解決する活動が始まったのです。

さらに、松島さんは全国で説明会を行いました。おそなえを子どもの貧困問題に役立てたいという考えに多くのお坊さんが賛同し、わずか3年で47都道府県すべてに協力してくれるお寺と支援団体が集まりました。コロナ禍では支援を求める声が増え、活動資金不足に陥りましたが、ホームページで呼びかけると、多くの食料や寄付が届きました。子どもの貧困問題に心を痛めても、何をしたらいいかわからない人は多く、おてらおやつクラブはいつしかそんな人たちの受け皿になっていました。

貧困問題には、経済的な側面のほかに、相談できる人がいない孤立の問題があります。助けてくれる人がいるという安心感をもってもらうことで、大阪の事件のような悲劇を防ぐことができるはずだと松島さんは考えます。本書は、人を助けるとはどういうことかを考えてきた住職から広がった支援活動の十年にわたる歩みが綴られています。

子どもの本 71

「ベンジャミン バニーのおはなし」
ピアトリクス・ポター さく・え
いしい ももこ やく
(福音館書店)

ある朝、うさぎのベンジャミンは、いとこのピーターに会いに行きました。彼は大きなハンカチにくるまり、元気のいい様子でした。農夫のマグレガーさんに服をとられたからです。マグレガーさんが出かけたのを知っていたベンジャミンは、ピーターを連れて畑へ向かいました。かかしがピーターの上着とくつを身につけていました。服を取り返すと、ベンジャミンはおみやげにする玉ねぎをハンカチで包みました。

玉ねぎを抱えて歩いていたら、ピーターが急に立ち止まりました。ねこがいたのです。二匹はそばにあって、かごをかぶって身を隠しました。ところが、ねこがそのかごの上に座り込み、動かなくなりしました。

ピーターはピットのシリーズの二冊目です。動物への愛情にあふれた絵が、物語の世界をさらに豊かにしています。読んでもらえば、四歳くらいから楽しめます。



「ライオン」

ウィリアム・ペーン・デュボア
文・絵
まさき るりこ 訳
(瑞雲舎)

昔、この世界ができる前、空高く宮殿がありました。そこは、天使たちが動物をつくりだす工房でした。新しい動物の名前を思いつくと、それを白い紙に書きます。そして、その名前にふさわしい動物を考え、絵に描いていくのです。



フオアマンという天使が「ライオン」という名前を思いつきました。そこで、あったけの色のクレヨンを使って、小さな太った動物を描きました。それから、その絵を他の天使たちに見てもらいました。

ひとり目の天使に「小さい」といわれ、大きく描き直しました。ふたり目は「はね」と言いました。首のまわりを描いていたはねを親指でこすると、色が混ざり金茶色になりました。次は「色」と言われ、さまざまな色の体と足も親指でこすりました。

挿絵に描かれた動物が、現在知られているライオンにどんだん近づいていく様子が愉快です。五歳くらいから楽しめます。

新着図書紹介

◆このリストは直近1か月に入った本の一部です◆

書名	著者	出版社	ジャンル
毎日読みます	ファン ボルム	集英社	読書
それ、すべて過緊張です。いつも仕事が頭から離れなくて気が休まらない…	奥田 弘美	フォレスト出版	心理学
NEXUS(ネクサス)情報の人類史(上・下)	ユヴァル・ノア・ハラリ	河出書房新社	歴史
兵庫の城 353 選 目指せ全城制覇! 城はその地の歴史が詰まった宝箱!	本岡 勇一	神戸新聞総合出版センター	ガイド
地下鉄サリン事件はなぜ防げなかったのか	垣見 隆 他	朝日新聞出版	捜査
酒を主食とする人々 エチオピアの科学的秘境を旅する	高野 秀行	本の雑誌社	紀行
平等について、いま話したいこと	マイケル・サンデル, トマ・ピケティ	早川書房	政治哲学
警察官のこのこ日記	安沼 保夫	三五館シンシャ	警察
世にもふしぎな法律図鑑	中村 真	日経 BP 日本経済新聞出版	法律
安心して在宅避難するためのおうち防災アイデア	Misa	オレンジページ	防災
日本の人魚伝説	高橋 大輔	草思社	人魚
大人のための地学の教室	鎌田 浩毅	ダイヤモンド社	地学
肝臓大復活 100歳まで食・酒を楽しむ「強肝臓」の作り方	栗原 毅	東洋経済新報社	医学
発明が変えた世界史 ビフォーとアフターが一目でわかる	かみゆ歴史編集部 編	朝日新聞出版	発明
奇跡の椅子 Apple が HIROSHIMA に出会った日	小松 成美	文藝春秋	木工業
帯で作るバッグ 素敵にリメイク	—————	ブティック社	袋物
コットン糸で編む洗える手編みのハンドタオル	—————	アップルミンツ	編物
発酵野菜みそのレシピ 米麴・塩・野菜を炊飯器に入れて作る	木村 幸子	WAVE 出版	料理
野草とハーブのレシピ	農山漁村文化協会 編	農山漁村文化協会	料理
志麻さんちのおやつ とびきり簡単、とびきりおいしい	タサン志麻	NHK 出版	菓子
花束作りの花合わせレッスン メインの花から導き出す	梶谷 奈允子	誠文堂新光社	花卉装飾
体感する仏像	村松 哲文	NHK 出版	仏像
タクトは踊る 風雲児・小澤征爾(せいじ)の生涯	中丸 美繪	文藝春秋	指揮者
ブレイクショットの軌跡	逢坂 冬馬	早川書房	日本小説
令和忍法帖	青柳 碧人	文藝春秋	日本小説
遊園地ぐるぐるめ	青山美智子, 田中達也	ポプラ社	日本小説
追跡	伊岡 瞬	文藝春秋	日本小説
汽水域	岩井 圭也	双葉社	日本小説
リペアラ―	大沢 在昌	KADOKAWA	日本小説
我らが緑の大地	荻原 浩	KADOKAWA	日本小説
ディア・オールド・ニュータウン	小野寺 史宜	KADOKAWA	日本小説
腕が鳴る	桂 望実	祥伝社	日本小説
初瀬屋の客 狸穴屋(まみあなや)お始末日記	西條 奈加	文藝春秋	日本小説
口外禁止	下村 敦史	実業之日本社	日本小説
A DAY IN YOUR LIFE	小路 幸也	徳間書店	日本小説
星の教室	高田 郁	角川春樹事務所	日本小説
おぼろ迷宮	月村 了衛	KADOKAWA	日本小説
ミナミの春	遠田 潤子	文藝春秋	日本小説
天までのぼれ	中脇 初枝	ポプラ社	日本小説
問題。以下の文章を読んで、家族の幸せの形を答えなさい	早見 和真	朝日新聞出版	日本小説
月収	原田 ひ香	中央公論新社	日本小説
月とアマリリス	町田 そのこ	小学館	日本小説
桃中図(とうちゅうず) 自選短篇集	宮城谷 昌光	文藝春秋	日本小説
猫の刻参り 三島屋変調百物語拾之続	宮部 みゆき	新潮社	日本小説
世界 99(上・下)	村田 沙耶香	集英社	日本小説
逃亡者は北へ向かう	袖月 裕子	新潮社	日本小説
へこたれてなんかいられない	ジェーン・スー	中央公論新社	エッセイ
水曜生まれの子	イーユン・リー	河出書房新社	外国小説

新着デージー図書紹介

デージー(DAISY)図書とは、視覚に障がいがある人や、文字を読むのが困難な人にも利用しやすいデジタル録音図書(CD)です。
新しく入った8枚のタイトルを紹介します。



タイトル	著者
おもかげ	浅田 次郎
悪魔には悪魔を	大沢 在昌
幽霊刑事(デカ)	有栖川 有栖
巷説百物語	京極 夏彦
続巷説百物語	京極 夏彦
悩め医学生 シリーズ(5)	中山 祐次郎
空海	三田 誠広
おそろし	宮部 みゆき

読書会

月1冊本を選び、感想などを気軽に話し合っています。いつでも参加、見学できます。

日時 4月12日(第2土曜日)
14時~15時30分

作品『人質の朗読会』

小川洋子 著

★次回の作品

『金閣寺』 三島由紀夫 著

えほん・おはなしのじかん

4歳以上の子どもが対象です。

えほん 4月 5日(第1土曜日)

19日(第3土曜日)

おはなし 12日(第2土曜日)

26日(第4土曜日)

10時30分からはじまります。

事前申込は不要です。当日カウンターで受付をしてください。

移動図書館ささゆり号運行予定

巡回場所	4月	5月	貸出時間
山崎町内	15日(火)	20日(火)	10時40分~14時
一宮町(学校・こども園)	休み	2日(金)	11時~14時
一宮町内	19日(土)	17日(土)	9時30分~15時30分
波賀町(学校・幼稚園)	休み	7日(水)	10時~15時
波賀町内	26日(土)	24日(土)	10時15分~16時
千種町内	16日(水)	21日(水)	10時30分~15時

本のリクエストも受け付けています



巡回形式のため時間によって貸出場所が変わります。

場所・時間に変更になることがあります。詳しくはお問合せください。

しーたん通信でもお知らせしています。



図書館カレンダー

4月

日	月	火	水	木	金	土
		△	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

× 休館：月曜日・祝日・年末年始
(月曜日と祝日が重なるときは、翌火曜日も休館)

△ 閉館：月末館内整理
(末日が日曜日や休館のときは、翌月初め)

開館時間：
9時30分~17時30分
(金曜日のみ18時30分まで)